

自民党議員連盟「日本の安全な麻酔・周術期医療を考える会 総会」が開催されました。

5月17日（火）（12時～12時50分）、衆議院第一議員会館で「日本の安全な麻酔・周術期医療を考える会 総会」が、武田良太会長、新谷正義幹事長候補者、今枝宗一郎事務局長、河村建夫元議員、富岡勉元議員の他、三ツ林裕巳衆議院議員、松本尚衆議院議員、羽生田俊参議院議員、島村大参議院議員、自見はなこ参議院議員が出席のもと開催されました。今枝議員の司会で始まり、河村元議員より会長の交代の説明があり、武田良太新会長の挨拶が行われました。

講演は、斎藤繁群馬大学医学部附属病院長から「周術期医療でのタスクシフト・シェアー安全で効率的な進め方」、小坂橋俊哉日本歯科麻酔学会監事から「歯科医師の医科麻酔科研修」、厚生労働省医政局医事課 医師等医療従事者働き方改革推進室の坪井宏徳推進官から「医師の働き方改革について」、厚生労働省医政局歯科保険課の高田淳子課長補佐から「歯科医師の医科麻酔研修に関する検討会について」が行われました。質疑応答では、松本尚衆議院議員、三ツ林裕巳衆議院議員より質問・コメントがなされ、厚労省より回答、ならびに山蔭道明日本麻酔科学会理事長、武田純三日本麻酔科医会連合代表理事からコメントがなされました。

麻酔科学会が行ってきた「周術期管理チーム」の実績と、歯科医師による医科麻酔研修の意義が十分に理解されたと思われます。また、医師の働き方改革により大学からの人材流失の問題が指摘され、短時間でありましたが、実質的な議論が行われました。

日本麻酔科医会連合からは17名（うち賛助会員6名）、日本麻酔科学会から3名が出席し、WEBで21名の参加がありました。



左から新谷衆議院議員、河村元衆議院議員、武田衆議院議員、今枝衆議院議員



左から内野日本麻酔科学会副理事長、萬同副理事長、武田代表理事、
山陰日本麻酔科学会理事長、小板橋副代表理事、齋藤理事、厚生労働省医政局高田氏、
厚生労働省医政局坪井氏